



道しるべ

道徳通信

上尾市立太平中学校
道徳通信 第8号
令和8年1月16日(金)
発行者 校長 宮田 純生



ならぬものはならぬものです。

学校事務職員

この秋、私は福島県の会津若松を旅してきました。そこで出会ったのが、かつての会津藩の少年たちが守った「什の掟（じゅうのおきて）」です。

- 一、年長者の言ふことに背いてはなりません
- 一、年長者にはお辞儀をしなければなりません
- 一、卑怯な振舞をしてはなりません
- 一、弱い者をいぢめてはなりません
- 一、戸外で物を食べてはなりません
- 一、戸外で婦人と言葉を交えてはなりません

そして、最後は、「ならぬものはならぬものです」という言葉で結ばれています。

掟に背けば罰が待っており、自らを強く律することを彼らは教わるのです。掟を守るということは、なぜ、どうして、といった理由を飛び越えて「ならぬものはならぬ」という厳しいものです。自分の衝動や欲求などを自分で抑えることの修練を彼らは積んだのです。

自分に厳しくあろうとすると、辛いこともあります。皆さんのこれからにも、理屈抜きで「やってはいけない」「譲れない」ことに直面するときにきくと来ます。周りに流されそうなとき、自分に負けそうなとき、この言葉を思い出してください。



「推し活」してますか？

学校事務職員

今や聞かない日がないくらいメディアでも取り上げられ日常的に耳にするようになった「推し活」という言葉は、好きなアイドルを‘推し’と呼んだことがはじまりらしい。今では、幅広い分野でいろいろな使われ方をして「推し旅」「推し食」など表現も多様化している。

推しを感じる番組の「博士ちゃん」も興味のあることを深く研究している小学生や中学生が先生となって授業をしていく。好きなことを笑顔で熱く語っていて、見ているこちらまで自然と笑顔になっている。

すべての物事にはメリットとデメリットがついてくる。年代ごとに楽しみ方も変わってくる推し活で、好きと思えるものを見つけて自分の心に潤いとパワーを！

私も笑顔で残り2か月を過ごしていこうと思う。推しの定義は十人十色だもん。



鳥やお父さんもぶつかるまで気づかないほどきれいな窓ガラス、皆さんも窓をきれいにして明るい学校にしましょう

挨拶の大切さ

スクールサポートスタッフ

私は相手の目を見て自ら挨拶をすることを大切にしています。挨拶をすると気持ちがよく、心が晴れ晴れし温かくなります。みなさんと廊下ですれ違ったときに挨拶をするととても嬉しく思います。朝、先生や友達に会ったとき、授業開始終了時、帰り道に別れるときなどにも挨拶をしますね。なぜ挨拶をするのか考えたことがありますか? 挨拶は相手に対する好意や敬意を表し、相手に伝えていることになります。

私が社会人1年目に先輩から言われた言葉があります。「新人は挨拶ができて、笑っといたらいい。」

特に社会人になると仲の良い友達だけではなく、様々な年代の人とのコミュニケーションが必要不可欠です。挨拶は人と人との信頼関係を築く上での最初のステップであり、人間関係を円滑にするためにとても大切で重要です。仕事もとても大事ですが、挨拶が良い人間関係を築く上での基本となります。みなさんには少し先の話かもしれませんが、心の片隅に留めてほしいと思います。

みなさんは相手の目を見て自ら挨拶をすることをしていますか? 早いもので新年になり、春には新学期が始まり、新しい環境に変わる時期です。もう一度、挨拶について確認してみてもいいでしょう。今からでも、いつからでも心掛けることができます。

